

第四次名張市子ども読書活動推進計画（概要版）

1. 計画策定の主旨

名張市においては、国の子どもの読書活動の推進に関する法律を受けて、名張市子ども読書活動推進計画を策定しました。2018（平成30）年度からは、5か年計画で第三次名張市子ども読書活動推進計画を進めてきており、様々な成果がみられています。

名張市における子どもの読書活動を更に推進していくため、第四次名張市子ども読書活動推進計画を策定するものです。

2. 計画の期間

2023（令和5）年度から2027（令和9）年度までの5年間

3. 本計画の指針

子どもが読書を通じて、聞く力、読む力、調べる力を育み、生涯にわたって主体的に学び続ける力が身に付くように取組を行うため、以下の項目を本市の子ども読書活動推進計画の指針とします。

- 1 家庭、保育所（園）・認定こども園及び幼稚園等における読書活動の推進
—読書活動の在り方の検討とその推進—
- 2 小中学校における読書活動の推進
—学校図書館の機能の充実—
- 3 市立図書館における子どもの読書活動の推進
—家庭・地域・諸機関との協働による読書活動の支援

4. 取組内容

(1) 家庭、保育所（園）・認定こども園及び幼稚園等における読書活動の推進

未就園児のいる家庭と保育所（園）・認定こども園及び幼稚園等を対象に、乳幼児期からの読書習慣を育むことの大切さを伝える取組を行います。

【数値目標】

成果指標	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)
「子ども読書の日」に向けた取組を実施している施設の取組率	78.9% (15施設)	100% (17施設)
なかよし広場での読み聞かせ	73.6% (14施設)	100% (17施設)

※2021（令和3）年4月時点の施設数は、保育所（園）12、認定こども園5、幼稚園2の合計19施設です。市立幼稚園と市立保育所の統廃合により2027年（令和9年）の施設数は17施設と推計しています。

(2) 小中学校における読書活動の推進

学校図書館には、「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うことや、「心の居場所」としての機能を充実させていくことも期待されています。そのため、学校図書館には、図書資料等の充実とともに、児童サービスの専門的な知識と技術を持つ職員の配置と育成を行います。

【数値目標】

成果指標	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)
全国学力・学習状況調査の質問「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」において、30分以上と回答する児童生徒の割合（教科書・参考書、漫画雑誌は除きます。）	【小学生】 34.3% 【中学生】 25.2%	【小学生】 40.3% 【中学生】 31.2%

※小学生の数値は小学校6年生児童、中学生の数値は中学校3年生生徒（全国・学力学習状況調査実施学年）

(3) 市立図書館における子どもの読書活動の推進

市立図書館では児童書の充実を図り、特集展示や読書相談等を実施しています。また、読書活動を支援するボランティアが必要とする知識・技術を習得するための学習機会の提供も行います。

【数値目標】

成 果 指 標	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)
児童書貸出冊数 (市立図書館と移動図書館との合計)	124,039冊	150,000冊